

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

(第一面)

評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	

―必須項目―

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書
1 構造の安定※	1-1	等級	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	☐ 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準) ⇒評価方法基準 第51-1(3)ホ又はへ①b)による場合 令和7年4月1日以降の基準に適合 令和7年3月31日以前の基準に適合 ☐ 許容応力度計算による(ルート1) ☐ その他 ()	☐ 伏図 ☐ 計算書
	耐震等級 (倒壊等防止) ☐ 評価対象外	☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		基礎	☐ 建築基準法の規定による ☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他 ()	
	1-2 耐震等級 (損傷防止) ☐ 評価対象外 ☐ 選択しない	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		横架材	☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他 ()	
	1-3 その他	☐ 免震 ☐ その他		免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 ☐ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成	
	1-4 耐風等級 ☐ 選択しない	等級 ☐ 2 ☐ 1		認定書等活用	☐ 認定書等の活用(第五面に記入)	
	1-5 耐積雪等級 ☐ 該当区域外 ☐ 選択しない	等級 ☐ 2 ☐ 1		地盤(1-6)	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 ☐ 地盤の許容応力度 [kN/m ²] ※整数未満の端数切捨て ☐ 杭状改良地盤 ※整数未満の端数切捨て ☐ 許容支持力度 [kN/m ²] ☐ 許容支持力 [kN/本] ☐ 杭の許容支持力 [kN/本] ※整数未満の端数切捨て ・地盤調査方法等 () ☐ 地盤改良有方法 ()	☐ 調査書
	1-6地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	設計内容説明欄と同様		基礎(1-7)	☐ 直接基礎 ・基礎の構造方法 () ・基礎の形式 () ☐ 杭基礎 杭種 () 杭径 [cm] 杭長 [m]	☐ 伏図
	1-7基礎の構造方法及び形式等					
	3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		外壁の軸組等	☐ 外壁通気構造等 ☐ 製材、集成材等又は構造用合板等+薬剤処理(現場処理) ☐ 製材、集成材等+小径13.5cm ☐ 製材、集成材等+耐久性区分D1+小径12.0cm以上 ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等
				土台	☐ 土台に接する外壁下端水切り ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等
3 劣化の軽減			浴室・脱衣室の防水	浴室	☐ 浴室 防水上有効な仕上げ ☐ 浴室ユニット ☐ 外壁軸組等の防腐措置等 方法: ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図
				脱衣室	☐ 脱衣室 防水上有効な仕上げ ☐ 外壁軸組等の防腐措置等 方法: ()	
				地盤	・防蟻措置 (☐ 有 ☐ 対象区域外) ☐ べた基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他 方法: ()	☐ 矩計図
				基礎高さ	☐ 地面から土台下端までの高さが400mm以上	
				床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置 ☐ 防湿方法 [☐ コンクリート ☐ 防湿フィルム ☐ その他 ()] 床下換気措置 ☐ 換気措置 [☐ 換気口 ☐ ねこ土台 ☐ その他] ☐ 基礎断熱工法	☐ 矩計図 ☐ 伏図等
				小屋裏換気の措置	・小屋裏の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・小屋裏換気設置の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 立面図
				認定書等	☐ 認定書等の活用(第五面に記入)	

※1-2、1-4、1-5の事項については、選択項目となる。

2025.04.01

―必須項目―

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
4 維持管理・更新への配慮	4-1 対策等級 (専用配管)	等級 2 1	☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	専用配管 地中埋設管 排水管内面の仕様 専用排水管の排水管清掃措置 配管点検口	☐ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない ・地中埋設管上のコンクリート打設 (☐ 無 ☐ 土間コンその他のみ有 ☐ 対象区域外) ☐ 排水管内面が平滑である ☐ たわみ、抜け等が生じないよう設置 ☐ 便所、その他水廻りに必要な清掃措置の確保 ☐ 主要接合部等の点検措置等の確保	☐ 平面図 ☐ 配置図 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 平面図	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること	5-1 断熱性能等級	等級 7 6 5 4 3 2 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	地域の区分 適用する基準 非住宅・住宅計算方法 ☐ 住宅仕様基準 ☐ 誘導仕様基準 ☐ チェックリスト※4による 認定書等活用 結露防止対策 認定書等活用	地域の区分 () 地域 ☐ 非住宅・住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準(等級4) ☐ 誘導仕様基準(等級5) ☐ 外皮平均熱貫流率(UA値) () (W/(m ² ・K)) ☐ UA値の値を評価書に記載する ※1 ☐ 冷房期の平均日射熱取得率 η _{AC} () ☐ η _{AC} 値の値を評価書に記載する ※2 ☐ 外皮の熱貫流率の基準又は断熱材の熱抵抗値の基準 ☐ 断熱材の熱抵抗値の基準に適合 ☐ 開口部の断熱性能等の基準に適合 ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和) ☐ 認定書等の活用(第五面に記入) ☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) ☐ 設置 () ☐ 省略 () ☐ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) ☐ 屋根 ☐ 有 () ☐ 省略 () ・防風層の設置 () ☐ 外壁 ☐ 有 () ☐ 省略 () ・防風層の設置 () ☐ 認定書等の活用(第五面に記入)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 建具表 ☐ 計算書	
	5-2 一次エネルギー消費量等級	等級 6 5 4 1	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準 非住宅・住宅計算方法 居室等の面積 一次エネルギー消費量 設備機器等の仕様 ☐ 住宅仕様基準 ☐ 誘導仕様基準 ☐ チェックリスト※4による	☐ 非住宅・住宅計算法 ☐ 住宅仕様基準(等級4) ☐ 誘導仕様基準(等級6) ・外皮平均熱貫流率(UA値) ☐ 一次エネルギー消費量 ・冷房期の平均日射熱取得率(η _{AC} 値) 計算結果による ・暖房期の平均日射熱取得率(η _{AH} 値) ・合計の床面積 ☐ 一次エネルギー消費量 ・主たる居室 計算結果による ・その他の居室 ・基準一次エネルギー消費量 ☐ 一次エネルギー消費量 ・設計一次エネルギー消費量 計算結果による ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による ☐ 暖房方式・暖房機器等の仕様等は設計図書による ☐ 冷房方式・冷房機器等の仕様等は設計図書による ☐ 換気機器の仕様等は設計図書による ☐ 照明設備の仕様等は設計図書による ☐ 給湯熱源機器の種類等は設計図書による また、誘導仕様基準の場合、所定の省エネ対策を実施する	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 系統図 ☐ カタログ	

※1:等級7の場合のみ明示することができます。(地域区分の8地域を除く。)

※2:等級7の場合のみ明示することができます。(地域区分の1、2、3及び4地域を除く。)

※3:等級6の場合のみ明示することができます。 ※4:建築物省エネ法 木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック内の「省エネ基準又は誘導基準 適否チェックリスト」

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

—選択項目—

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認欄	
				項目	設計内容		
2 火災時の安全	2-1 設置等級 (自住戸火災時)	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 選択しない	☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	感知警報	感知部分の ・ 基準に適合した感知部分の設置場所 ・ ☐ 報を行う部分 ☐ ☐ ☐ (☐ 1mで70dB以上の警報音を1分継続可能 ☐ その他同等) (☐ 居室を有する各階設置 ☐ 階数が1) (☐ 150㎡毎設置 ☐ 350㎡毎設置 ☐ その他) (☐ ネットワーク化されている)	☐ 仕上表 ☐	
	2-4 脱出対策 (火災時)	設計内容 説明欄と同様 ☐ 選択しない ☐ 該当なし	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	脱出対策 (3階以上)	避難器具の種類 ☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー ☐ 避難器具 (☐ 避難ロープ ☐ 避難はしご ☐ 避難用タラップ ☐ 避難橋 ☐ 滑り棒 ☐ 滑り台 ☐ 緩降機 ☐ 救助袋) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
	2-5耐火等級 (延焼のおそれのある部分・開口部)	等級 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 選択しない ☐ 該当なし	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の耐火性能 (耐火性能が最も低いもの)	防火設備の仕様等 耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第五面に記入)	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐	
	2-6耐火等級 (延焼のおそれのある部分・開口部以外)	等級 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 選択しない ☐ 該当なし	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	外壁・軒裏の構造 (耐火性能が最も低いもの)	外壁の構造等 外壁の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) 軒裏の構造等 軒裏の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第五面に記入)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	
6 空気環境	6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)	設計内容 説明欄と同様 ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室の内装仕上げ材 天井裏等の下地材等	使用建材 ・ ☐ 製材等 ☐ 特定建材 ☐ その他の建材 ホルムアルデヒド発散等級 ☐ F☆☆☆☆ ☐ F☆☆☆ ☐ F☆☆ (等級3) (等級2) (等級1) 措置方法 ・ ☐ 換気又は気密措置による ☐ 使用建材による 使用建材 ・ ☐ 製材等 ☐ 特定建材 ☐ その他の建材 ホルムアルデヒド発散等級 ☐ F☆☆☆☆ ☐ F☆☆☆ (等級3) (等級2) ☐ 該当なし	☐ 仕上表 ☐ 建材表 ☐	
	6-2 換気対策	設計内容 説明欄と同様 ☐ 選択しない	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策の種類	・ ☐ 機械換気設備 ☐ その他	☐ 平面図 ☐	
				局所換気対策	便所 ☐ 該当なし 浴室 ☐ 該当なし 台所 ☐ 該当なし	・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐
7 光・視環境	7-1 単純開口率	設計内容 ☐ 選択しない	☐ 基準	居室床面積に対する開口部の割合	・ 単純開口率 (% 以上)	☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐	
	7-2 方位別開口比	説明欄と同様 ☐ 選択しない	☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	方位別開口部の面積合計の比	北面(% 以上) 東面(% 以上) 南面(% 以上) 西面(% 以上) 真上(% 以上)		

性 能 表 示 事 項	自己評価結果	評価方法	確 認 項 目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項 目	設計内容	記載図書	
8音環境	8-4等級 (外壁開口部)	北面 ☐ 2 ☐ 1 東面 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 南面 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 西面 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 該当無し(北) ☐ 該当無し(東) ☐ 該当無し(南) ☐ 該当無し(西) ☐ 選択しない	☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の北の方位の	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 (dB)	☐ 仕上表 ☐	
				東の方位の サッシ・ドアセット (遮音性能が 最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 (dB)		
				南の方位の サッシ・ドアセット (遮音性能が 最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 (dB)		
				西の方位の サッシ・ドアセット (遮音性能が 最低のもの)	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 試験実施機関名称 () 透過損失の平均値 (dB)		
				認定書等	認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第五面に記入)		
				部 屋 の 特 定 寝 室 配 置 等 の 位 置	・ 特定寝室 (階、室名:) ・ 基準に適合したホームエレベーター (☐ 有 ☐ 無) ☐ 特定寝室と同一階に配置すべき室等の基準に適合	☐ 平面図 ☐	
				段 差	日 常 生 活 空 間 内 ☐ 日常生活空間内の床が段差のない構造 ・ 適用除外の段差 ☐ 玄関出入口 ☐ 玄関上りかまち ☐ 浴室出入口 ☐ その他の段差 () 日常生活空間外 ☐ 日常生活空間外の床が段差のない構造	☐ 平面図 ☐	
				階 段	勾配等 ☐ 階段の勾配等の基準に適合 ☐ 階段無 蹴込み ☐ 蹴込みが30mm以下 ・ 蹴込み板の設置 (☐ 有 ☐ 無) 形式等 ・ 回り階段等の設置 (☐ 有 ☐ 無) ・ 通路等への食い込み、突出 (☐ 有 ☐ 無) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 有 ☐ 無) 滑り防止 ・ 滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面) 段鼻 ・ 段鼻の出 (☐ 有 ☐ 無) 階 段 の 幅 員 ☐ 必要な階段幅員の確保	☐ 平面図 ☐	
				手 摺	手 摺 の 設 置 ☐ 階段 ☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 玄関 (☐ 設置準備) ☐ 脱衣室 (☐ 設置準備) 転落防止手摺 の 設 置 ☐ バルコニー (☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 窓 (2 階以上 (☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 廊下及び階段 (☐ 開放なし ☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし)	☐ 平面図 ☐	
				通路等の幅員	通路の幅員 ☐ 通路幅員の基準に適合 出入口の幅員 ☐ 玄関・浴室出入口の幅員の基準に適合 (日常生活空間内) ☐ 玄関・浴室以外出入口の幅員の基準に適合 (☐ 工事を伴わない撤去等 ☐ 軽微な改造)	☐ 平面図 ☐	
9高齢者等への配慮	9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分) ☐ 選択しない	等級 ☐ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	浴室の寸法	☐ 内法面積、短辺寸法の基準に適合	☐ 平面図		
			便所の寸法等 (日常生活空間内)	☐ 内法寸法の基準に適合 ☐ 便器と壁の距離の基準に適合 ☐ ドアの開放により確保 ☐ 軽微な改造により確保 ☐ 工事を伴わない撤去等により確保 ☐ 腰掛け式便器を設置	☐		
			特定寝室面積	☐ 特定寝室の内法面積の確保			

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			記載図書	設計内容確認欄
				項目	設計内容			
10 防犯	10-1 侵入防止対策 ☐ 選択しない	設計 説明欄 と同様 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	☒ 1 階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)	☐ 平面図 ☐	
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)		
						☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)		
						☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
			☐ 2 階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)		
						☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)		
						☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
					・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)		
						☐ その他 ☐ 該当する開口部無し		
☐ 3 階	区分及び措置	・ 区分a	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)					
			☐ その他 ☐ 該当する開口部無し					
		・ 区分b	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)					
			☐ その他 ☐ 該当する開口部無し					
		・ 区分c	☐ 侵入防止上有効な措置(☐ 雨戸等による対策)					
			☐ その他 ☐ 該当する開口部無し					

[illegible]

(長期使用構造等確認追加)

設計住宅性能評価(長期使用構造等確認を併せて申請の場合)

※この設計内容説明書は、長期使用構造等であることの確認の要否で、■要とした場合に添付してください。

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

建築物所在地	
設計者等の氏名	
評価員氏名	

－必須事項－

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
劣化対策	3-1 構造躯体の劣化対策	点検措置	床下空間 ・ 床下空間への点検口の設置 ☐ 区分された床下空間ごとに点検口を設置	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図	
			小屋裏空間 ・ 小屋裏空間への点検口の設置 ☐ 区分された小屋裏空間ごとに点検口を設置	☐	
			床下空間の有効高さ ・ 床下空間の有効高さ、330mm以上 (☐ 有 ☐ 無) ・ 点検に支障のない範囲で上記寸法に満たない部分の有無 [☐ 無 ☐ 有 ()]		
	長期使用構造等の確認	劣化対策等級	☐ 3-1劣化対策等級、等級3に適合 ※設計住宅性能評価設計内容による		
耐震性	1-1 耐震性(耐震等級) (倒壊等防止)	長期使用構造等の確認	耐震等級 ☐ 1-1耐震等級、等級3に適合 ☐ 1-1耐震等級、等級2に適合 ※設計住宅性能評価設計内容による		
			限界耐力計算による場合 (安全限界変形の検討) ☐ 各階の安全限界変形の高さに対する割合1/40以下に適合 ☐ 各階の安全限界変形の基準に適合 ☐ 等級2・3、かつ、各階の安全限界変形の高さに対する割合1/30以下に適合	☐ 計算書 ☐	
可変性	※ 可変性		(一戸建て住宅のため該当なし)		
維持管理	4-1 維持管理・更新の容易性	長期使用構造等の確認	維持管理対策等級 (専用配管) ☐ 4-1維持管理対策等級(専用配管)、等級3に適合 ※設計住宅性能評価設計内容による (ただし、ガス管に係るものを除く)		
高齢者	※ 高齢者等配慮対策等級 (共用部分)		(一戸建て住宅のため該当なし)		
省エネ	省エネルギー対策	長期使用構造等の確認	☐ 5-1断熱等性能等級、等級5に適合 ☐ 5-2一次エネルギー消費量等級、等級6に適合		